

技術・家庭科 家庭分野【C 衣生活・住生活と自立】学習指導案

川西市立清和台中学校
指導者 西岡なつほ

日 時 平成29年9月29日（金）5校時(13:50～)
学 級 第1学年1組（男子16名 女子17名 計33名）
場 所 被服室

1. 題材名 「衣服の選択と手入れ」C（1）
2. 題材設定の理由

本学級の生徒は、衣生活に関する興味・関心は高く、製作の実習には意欲的に取り組んでいる。しかし、生徒の生活経験は少なく、小学校で学んだ基礎的・基本的な知識及び技能が十分に身につけていないことから、学習したことが自分の生活に生かされていない状況が見られる。

既製服を購入する際には、その商品についての情報を深く読み取ることなく、デザインや安価な商品など目につきやすい情報だけで判断し、入手することが多い。また、日常着の手入れについては、小学校に比べて制服の手入れの機会があるものの、自分自身で上手に手入れを行うことが難しいと感じている割合が高く、大人に頼ることも多い。

これらのことから、繊維の種類や品質表示、取扱い絵表示等、必要な知識の習得を図るとともに、自分自身で選択に必要な情報を収集・整理してから既製服を購入しようとする実践的な態度の育成や、自ら手入れができる技能を確実に定着させることが課題である。

この題材では、生徒にとって身近なTシャツを教材とし、表示の確認や環境への配慮等、小集団での意見交換を通して新たな視点に気付かせたい。また、問題解決的な学習を取り入れたり、家庭で実践する場を設定したりすることで、手持ちの衣服を活用することや、既製服の購入から廃棄を見通して衣服を選択しようとするなど、「快適な衣生活」に向けて生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度の育成につなげたい。

3. 目標
 - (1) 既製服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。
 - (2) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。

4. 指導計画（全13時間）

第1次 衣服の働き（6時間）
・衣服の働き
・T.P.Oを踏まえた自分らしい着方の工夫
第2次 衣服の選択と手入れ（7時間）
・衣服の計画的な活用方法
・必要な衣服の選択 …本時（9／13時間）
・よりよい衣生活を目指して

5. 具体的目標（評価規準）

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとしている。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見だし、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣服の着用、選択、手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

6. 本時の目標

既製服を選択するための情報を収集・整理し、目的に応じた既製服の適切な選択について考えることができる。

7. 本時の展開

時間	学習の流れ	学習活動			教具 その他	指導の留意点	
		行う	考える	知る		方法	観点
0	始	前時の確認				一斉	既製服の選択に必要な情報を収集・整理することができたか。 【技能】 目的に応じた既製服の適切な選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 【工夫・創造】
2	目標の確認	本時の学習目標を確認する。		本時の学習目標を知る。	ワークシート	一斉	
3	検討		ダイヤモンドランキングを使い、既製服を選択する際のポイントについて考える。		ワークシート キーワード	班	
10	発表	意見を交流する。		他の班の意見を知る。		一斉	
20	確認	Tシャツ購入の目的を確認する。			ワークシート 模造紙 ペン Tシャツ ハンガー	班	
35	検討	Tシャツの表示などから情報を読み取り、整理する。		6枚のTシャツの情報を知る。	ワークシート	班	
40	点検		既製服を選択する際の目的を考える。		ワークシート	一斉	
43	本時のまとめ	本時のまとめをする。			ワークシート	一斉	
48	評価	自己評価をする。				一斉	
50	次時の予告			次時の学習内容を知る。		一斉	
	終						